



歴史的建築物と厳かな山なみ

●村積山の景観特性

村積山は中世より、「神の山」として信仰を集めてきた。その山なみは「三尊方式」と言われ、ちょうど本尊と両脇の脇仏が鎮座する姿のようにみられるため、このように呼ばれてきた。「神の山」にふさわしい厳かな山なみ景観である。また頂上には村積神社があり、裾野には奥殿陣屋、龍溪院、熊野神社等の歴史的建築物が分布している。



村積山の外観

●主な景観要素など



●景観保存等の課題

歴史的建築物と厳かな山なみから形成される景観を阻害する建築物及び工作物等の扱い

●村積山の景観形成の目標

歴史的建築物と厳かな山なみから形成される景観を保全する